

# 英米文化学会会報 第27号

## SES NEWSLETTER



英米文化学会編集委員会

## ◆英米文化学会第91回例会のお知らせ

標記の例会を下記の要領で開催します。

開催月日：平成8年6月8日（土）

場 所：日本大学歯学部3号館3階第7講堂

（お茶の水ニコライ堂隣）

時 間：15:00～17:00 受付14:30

懇親会：於 モーツアルト（千代田区神田小川町3-14 Tel. 3291-2021）

会費5,000円

## 研究発表

1. 頻度リストを使用した語彙学習とその効果

伊東 田恵（レイクランド大学）

司会 伊澤 章（拓殖大学）

2. “もう一つの選択” ---1947年秋ブルックリンにて---

W. スタイロン作『ソフィの選択』から

佐久田英子（拓殖大学）

司会 上野 和子（昭和女子大学）

## ◆臨時総会開催のお知らせ

標記の総会を6月8日の例会（研究発表）終了後開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

## ◆英米文化学会第14回大会のお知らせ

標記の大会を下記要領にて開催します。

開催年月日：平成8年8月23日（金）・24日（土）

場 所：長野清泉女学院短期大学

宿泊場所：三井ガーデン・ホテル長野（長野駅善光寺口から徒歩7～8分）

講 演：深井 宏一（立正大学）

演 題：現代英語文のレトリック ---日英語の静態と動態

第14回大会事務局：佐藤英語研究室 〒101 千代田区神田駿河台1-8-13 日本大学歯学部

電話 03-3219-8160（直通）

〈宿泊等の申込について〉

本会報と一緒に、上記大会の宿泊費用等の振込用紙をお送りしますので、ご希望の方はお早めに申し込んでください。三井ガーデン・ホテル長野宿泊（シングル、23日）費用は、24日の朝食込で7,000円、懇親会（23日夜）費用は6,000円です。なお、振込用紙の通信欄に、ホテル宿泊のみの代金か、宿泊代と懇親会費の払い込みかを明記してください。

## 第14回大会日程

第1日 8月23日(金)

13:30 受付開始

14:00~14:10 挨拶: 英米文化学会会長 名和雄次郎  
清泉女学院短期大学学長 清水 宏子先生

14:10~16:30 研究発表

1. シェイクスピアとモグラ

---トブセルの *The Historie of Four-footed Beastes* (1607) に関連して 山根 正弘 (創価大学)

2. 黒人映画

越智 敏之 (工学院大学)

3. トマス・ホップズの家族観について

小林 弘 (東京理科大学)

第2日 8月24日(土)

10:00 受付開始

10:30~14:00 研究発表

1. 『ロミオとジュリエット』におけるマキューショーの役割 石原 万里 (福島工業高等専門学校)

2. ヘンリー・ジェームズとウィリアム・ジェームズ

---文学と哲学のあいだ---

大東 俊一 (法政大学)

3. リスニング教材に見られるインプットの変遷

柏木 厚子 (昭和女子短期大学)

14:20~16:00 講演

その他詳細は次回の会報にてお知らせします。また、割愛願をご希望の場合には事務局佐藤先生までご一報ください。

## ◆第91回例会研究発表レジメ

1. 頻度リストを使用した語彙学習とその効果

伊東 田恵 (レイクランド大学)

言語の習得において、語彙の学習は重要である。しかしどのような語を、どのように教えるのか。方法は様々であり、賛否もまた様々である。リーディングとの関連で、文脈から意味を把握させていくやり方もあれば、目的に合った単語リストを上から順に暗記していくという方法もある。また、単語の意味は、日本語で与えるべきか、英語で与えるべきか。どのくらいの期間で、どのくらいの教を覚えられるのか。

本発表では、英語集中課程初級コースの語彙学習プログラムを紹介し、学習者の語彙テストにおける誤答分析を通して、その問題点を浮き彫りにし、効果的な語彙学習について考える。

2. “もう一つの選択” ---1947年秋ブルックリンにて---

W. スタイロン作『ソフィの選択』から

佐久田英子 (拓殖大学)

『ソフィの選択』には二つの大きな選択のやまばがある。一つはナチスに囚われたポーランド人女性ソフィが、強制収容所アウシュヴィッツで、自分の幼い二人の子どもの一人を自分の手で「ガス室」に送った、この小説の原点となった選択である。これは、物語のクライマックスであると同時に、異常な状況下で強いられたこととはいえナチスの「選別」と同じ非道な選択をしたソフィの魂のありようをとおして、時代や個人を超えた母の、女の、人間そのものの魂の本質的領域でのたたかいを問うものである。

戦後解放され収容所を出たソフィの「再生」の場はニューヨークのブルックリンだった。そこは希望が持てる「新世界」のように見えたが、じつは混沌と放縦の街旧約のバビロンの顔をもっていた。神の怒りに触れて通じ合うことばを失ったバビロン人に似て、英語のできないソフィは、「知恵のソフィア」が武器と

した「ことば」を失い、ロゴス喪失の反作用としての性の大胆な解放のうちに犯した罪と向き合わなければならない。ソフィは厳格なポーランドカトリック社会に育ったがアウシュヴィッツで神を捨てた。信仰による贖罪のない再生のたたいは、E. ディッキンソンの“わたしが立ち止まって死を待つことができなかつたから、死が親切にもわたしのために立ち止まってくれた...”という詩とともに始まった。1947年秋ブルックリンにて、彼女の“もう一つの選択”は成就する。ここではソフィの「再生」の意味を求めて、一つの選択の結果としての“もう一つの選択”を考えてみたい。

### ◆書評

レナード・ファインバーグ著／勝浦吉雄・安達秀夫・田中寿美訳『ユーモアの秘密』文化書房博文社刊、1996年(2,884円)

『ユーモアの秘密』は文字通り、「ユーモア」の秘密を解き明かし、例証しようとする、きわめて野心的な著書である。著者ファインバーグは、D.H. モンローが分類したユーモアに関する伝統的理論（〈優越性〉理論、〈抑制からの解放〉理論、〈両面感情〉理論、〈不調和〉理論）を用いる。そして、それぞれの理論を支える共通項として「攻撃性」を抽出し、「ユーモアの秘密、それは遊び心のある攻撃性である」と言い切ってしまう。しかし、最終章の、最後に書かれたこの一節にたどりつくまで、読者は古今東西の古典文学から、民間伝承、テレビのワイド・ショーにいたる、あらゆる分野のユーモアを検証することになるのである。

『人間と笑い』、『諷刺作家』、『諷刺序論』、『アジア人の笑い』など他の著書を見ても、ファインバーグは、とにかく、「ユーモア」一筋の研究者であるらしい。また、広範なフィールドワークは、フルブライトの人文科学部門の派遣講師として、世界各国を講演したときの成果であることを略歴から知ることができる。豊富な例が、モンロー理論を補強し、「ユーモア」を生み出す原動力ともいえる攻撃性を浮かび上がらせたと言えよう。

しかし、「ユーモア」を日本語に翻訳するとなると大変である。なにしろ、ユーモアの攻撃性とは、「ことばの自明性」に対する攻撃でもあり、一義的なシニフィアンとシニフィエの関係を崩すことによって成立しているものでもあるのだから。それをどうやって、異なる「ことばの自明性」をもつ日本語でとらえ、伝えるのか。

「チェスはおもしろかった？」

「<sup>↑</sup>歩、<sup>↑</sup>歩、<sup>↑</sup>歩、てとこかな」

「その笑い、大したことなかったっていう女王だん？」

(同書 p. 214)

このように、おかしみを巧みに訳してしまう訳者を得て、『ユーモアの秘密』も日本の読者もしあわせである。(吉田俊実)

### ◆会員による出版物のお知らせ

- 1) 勝浦吉雄先生：『(生糸商) 原善三郎と富太郎 (三溪) ---その生涯と事績---』を本年2月に、文化書房博文社(定価¥2,575)より出版されました。
- 2) 学会の共同編集による、『英語長文STEP BY STEP』の三訂版が出版されました。

責任編集者は〈基本編〉富田恵子先生、〈標準編〉井上輝伸先生、〈発展編〉亀山孝先生です。今迄より大判になり、各巻とも47頁、定価480円、別冊で31頁、定価100円の解答がついています。以前にも増して素晴らしい出来栄えだと思います。会員のみならず、全員で宣伝してください。

3) 小林多佳子先生(昭和女子短大)：青木昭六編著『英語科教育の理論と実践〈理論編〉』(現代教育社)に「大学・短期大学における英語科教員養成制度の現況」を執筆されました。(名和雄次郎)

#### ◆会員専用コンピュータシステム発売のお知らせ

過日のニューズレターでお知らせ致しましたように、当学会のインターネット上での活動の基盤として、会員の中の希望者にインターネットに文字どおり即座に接続して使用できるシステムを、ハードウェアは日立ソフトウェアエンジニアリング社、そしてインターネットプロバイダにはスリーウェブ社に協力をお願いしまして、当学会会員専用システムとして本体価格を20万円以下で提供していただけることとなりました。このニューズレターと前後して、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社からのご案内がお手元に郵送される予定です。ご購入を希望される場合は、日立ソフトに直接申し込んでください。

接続してメールが送受できるようになりましたら、事務局佐藤治夫先生まで電子メールを送ってください。インターネットブラウザを立ち上げると、仮運用中の英米文化学会ホームページに自動的に接続されます。

URL=<http://www.threeweb.ad.jp/~shakey23/> ("shakey23"の前のチルド記号をお忘れなく)

ぜひ、一度アクセスしてみてください。仮運用中にて何もありませんが、文学、語学、教育などに関連するサイトへの飛び先は入っております。

今回の販売機種は、会員の方のみを対象とした商品でありますので、会員以外の方のサポートはできませんのでご了承ください。

#### <接続料金について>

インターネットプロバイダの使用は、年一括払いの固定料金ですので、何時間つないでも課金されませんが、電話代は含まれておりません。スリーウェブ社は、プロバイダとして東京、千葉、大宮にアクセスポイント(接続時に電話をかけて接続する拠点)を持っております。これ以外の市外局番の会員は、他の御自分の市内局番で通信できるプロバイダとの契約をお勧めします。また、NTTの「てれほ一だい」サービス(夜11時から朝の8時まで定額固定料金で相手先2件まで電話かけ放題のシステム)などをご利用になって電話代金の節約を計るのが通常行なわれている方法です。

◎現在、インターネットをご利用中の会員は、事務局佐藤先生までメールにてご連絡ください。

shakey23@tky.threewebnet.or.jp

#### ◆編集担当より記事訂正のお願い

会報26号に下記の誤りがありましたのでお詫びいたします。訂正をお願いいたします。

3頁 誤 (b)の(3)ハードカバー.....印税10%

正

印税4%(二刷より印税が入る)

英米文化学会会報 第27号 編集・発行:英米文化学会編集委員会=池田 広子、小川 喜正、  
岸山 昭、武井 朗子、中村 蔵、宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者: 中村 蔵 示